

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アスクル のり付きパネル 反りにくいタイプ
 会社名: アスクル株式会社
 住所: 東京都江東区豊洲 3-2-3
 担当部門: マーチャンダイジング本部 ブランドマネジメント
 電話番号: 0120-345-861

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的・化学的危険性: 区分外または分類対象外
 健康に対する有害性
 急性毒性(吸入:ガス): 区分外
 特定標的臓器毒性(単回暴露): 区分外
 環境に対する有害性: 分類対象外
 GHSラベル要素: 該当しない
 重要危険有害性: 製品中の発泡剤ガス(n-ブタン、イソブタン)はゆるやかに大気中に放散する

3. 組成及び成分情報

単一品・混合物の区別: 混合物(成型品)
 一般名または化学名: 発泡ポリスチレンシート・紙・粘着剤等の混合物
 成分情報:

化学名	含有成分	化学式	化審法 (官報公示整理番号)	労働安全衛生法 (名称等を通知すべき有害物)	CASNo.
ポリスチレン	樹脂	(C ₈ H ₈) _n	(6)-120	該当しない	9003-53-6
ブタン	発泡剤	C ₄ H ₁₀	(2)-4	482	106-97-8 75-28-5
タック紙	セルロース ポリエチレン シリコーン アクリル酸エス テル重合物	-	-	該当しない	-
裏紙	セルロース ポリエチレン			該当しない	

GHS に寄与する危険有害成分: n-ブタン、イソブタン
 製品の危険有害性に寄与する
 微量成分: 該当なし

4. 応急措置

吸入した場合: 粉じん等を吸い込んだ場合、よくうがいし、新鮮な空気を吸う等の処置をする。気分が悪い場合、新鮮な空気のある場所に移し、気分が回復しない場合は医師の診察を受ける
 皮膚に付着した場合: 溶融物が付着した場合、衣服の上から大量の水をかけて十分に冷却した後、医師の手当てを受ける。衣服が癒着している場合、無理に脱がさない
 眼に入った場合: 直ちに大量の水ですすぎ流す。痛みや刺激が持続する様であれば、医師の診断を受ける
 飲み込んだ場合: 可能であれば吐き出させ、水で口を濯いだ後、医師の診断を受ける

作成日: 2019 年 8 月 22 日
 改訂日: - 年 - 月 - 日
 確認日: 2022 年 8 月 1 日

5. 火災時の措置

消火剤:	水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を用いて消火する
特有の危険有害性:	燃焼時に熱分解や不完全燃焼により、黒煙、一酸化炭素、スチレンモノマー等を含んだガスが発生する場合がある
消火方法:	周囲の可燃物を取り除く。消火剤を使用して消火する 延焼のおそれがないよう、周囲の設備などに散水し、冷却する
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な保護具(呼吸保護具)や耐火服を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	切片、粉末状のものが漏出した場合、作業者は形態に応じて適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける
環境に対する注意事項:	周辺環境に影響がないように、製品の環境中への流出を避ける
二次災害の防止策:	付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に、消火剤を準備する

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	必要に応じて保護具を着用する
安全上の注意事項:	火気、高温等の着火源を避ける。静電気放電に対する予防措置を講ずる
保管:	
技術的対策:	熱源、発火源から離れた場所に保管する。通風、換気設備を設ける
保管条件:	火気、直射日光など熱源を避け、高温多湿の場所を避けて保管する
容器包装材料:	破損や汚れのない包装材料を使用する

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・作業環境評価基準:	設定されていない
許容濃度 (暴露限界、生物学的暴露指標):	日本産業衛生学会(2010)2mg/m ³ (吸入性粉じん)、8mg/m ³ (総粉じん)(第3種粉じん)500ppm(1,200 mg/m ³)(ブタン(全異性体)) ACGIH TLV-TWA(2010)1,000ppm(脂肪族炭化水素ガス[アルカンC1～C4])
保護具	
呼吸器の保護具:	必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する
手の保護具:	成型品のエッジで手を切る可能性があるので手袋を着用する
眼の保護具:	必要に応じて適切な眼鏡を装着する
皮膚及び身体の保護具:	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する
設備対策:	成形品粉じん等の飛散時には、防じん用マスク及び保護眼鏡を着用する

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質の基本情報

外観:	板状固体
臭い:	ほぼ無臭
引火点(°C):	346(ポリスチレン)、-72(n-ブタン)、-81(イソブタン)
爆発限界(vol%):	1.9～8.5(n-ブタン)、1.8～8.4(イソブタン)
密度(kg/m ³):	0.05～0.5(ポリスチレン)
ガス比重:	2.075(n-ブタン)、2.069(イソブタン)
溶解性:	水、低級アルコールに不溶、その他の有機溶剤に可溶(ポリスチレン)水に極微量溶解、その他の有機溶剤に可溶(n-ブタン、イソブタン)
自然発火温度(°C):	488～496(ポリスチレン)、405(n-ブタン)、460(イソブタン)

作成日: 2019 年 8 月 22 日
改訂日: - 年 - 月 - 日
確認日: 2024 年 3 月 11 日

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の取り扱い条件下では安定である
危険有害反応可能性:	通常の取り扱い条件下では危険有害反応を起こさない
避けるべき条件:	静電気等の着火源との接触を避ける
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解生成物:	一酸化炭素、スチレンモノマー、等

11. 有害性情報

製品の有害性情報:	情報なし
成分の有害性情報:	
n-ブタン	
急性毒性(吸入:ガス):	ラット LC50 約 280.000 ppm(4 時間)
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	ウサギの眼を刺激しない
生殖細胞変異原性:	細菌を用いる復帰突然変異試験で陰性
特定標的臓器毒性(単回暴露):	ヒトにおいて高濃度吸入で麻酔作用または中枢神経系抑制を示す
その他の有害性情報:	情報なし
イソブタン	
急性毒性(吸入:ガス):	マウス LC50 52mg/L(1 時間)(4 時間換算値:11.000ppm)
皮膚腐食性/刺激性:	ヒトにおいて、ガス状の本物質は皮膚に対し刺激を与えないとの記載がある
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	ヒトにおいて、ガス状の本物質は眼に対し刺激を与えないとの記載がある
生殖細胞変異原性:	エームス試験で陰性
特定標的臓器毒性(単回暴露):	イヌを用いた吸入暴露試験において、用量 70.000ppm で 5 分間の暴露(4 時間換算値:10.083ppm)により、心筋の強心作用がみられた。また、マウスを用いた吸入暴露試験において「中枢神経系の抑制」、「麻酔作用」との記載、イヌを用いた吸入暴露試験において「感覚消失」との記載がある。なお、本物質は単純窒息性(simple asphyxiant)であり、急性暴露では頻呼吸及び頻拍を起こす可能性があるとの記載がある
その他の有害性情報:	情報なし

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報:	情報なし
成分の環境影響情報:	情報なし
その他の有害性情報:	オゾン層破壊物質は使用していない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと
汚染容器及び包装:	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号・海洋汚染物質:	該当しない
国内規制:	消防法による指定可燃物(合成樹脂類 発泡させたもの)に該当する
緊急時応急措置指針	
(容器イエローカード)番号:	該当しない
特別の安全対策:	輸送に際しては、火気、直射日光を避け、換気、荷崩れの防止を確実にを行う

作成日: 2019 年 8 月 22 日
改訂日: - 年 - 月 - 日
確認日: 2024 年 3 月 11 日

15. 適用法令

労働安全衛生法： 名称等を通知すべき危険物及び有害物(ブタン)(1重量%以上を含有する製剤その他のもの)、危険物・可燃性のガス(ブタン)

消防法： 指定可燃物(合成樹脂類 発泡させたもの)

16. その他の情報

参考文献

- 1)I.Phillips 他:Brtish Plastics , 385-390(1961 July)[亜急性及び慢性毒性]
- 2)A.M.Thiess 他:Polymer Preprint, 35-39(1976)
- 3)BHunter 他:Huntingdon Res.Cent. Rep. 1-318(1976 Feb)
- 4)IARC MONGORAPHS Supplement No.7 Overall evaluation of carcinogenicity :An u pdating of IARCMonographs Volumes 1-42(1987) [がん原性]
- 5)独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質管理情報 GHS分類結果データベース(Access on Aug:2010)
- 6)中央労働災害防止協会、「GHS対応による混合物(化学物質)のMSDS作成手法の研修テキスト(改訂版)」(Access on May,2007)
- 7)「化学防災指針」(1979)日本化学会編

注意事項

本製品安全データシートは信頼し得ると考えられる資料に基づき、一般的取り扱い等を前提に作成したものです。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。これを参考にして自らの責任で、個々の取り扱い等において適切な措置をお取り下さるようお願いいたします。

作成日： 2019 年 8 月 22 日
 改訂日： -年 -月 -日
 確認日： 2024 年 3 月 11 日